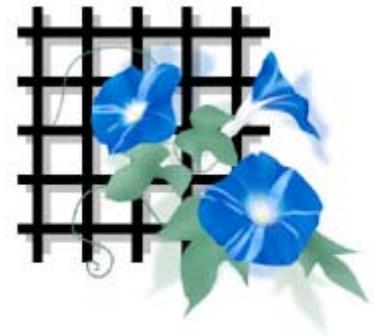


# 不二速報



発行日 2006年8月7日  
第3号(定期大会報告号)

## 2006年度 第108回定期大会報告

大会日時：2006年6月29日午後4時5分から6時20分  
場所：共通教育A棟5階大会議室

以下のように議事が進み、議論が行われました。

### 執行委員長挨拶

- ・ 賃金の再度の引き下げの可能性がある。これを阻止していかなければならない。
- ・ 助手・助教の問題が今年度は大きい。静大にふさわしい人事・組織のあり方を組合から提案していきたい。

### 第1号議案 2005年度活動報告とその承認に関する件

1. 05年度活動の概括
2. 個別の課題

### 第2号議案 2005年度会計決算報告とその承認に関する件(その1)

- 2005年度会計決算報告とその承認に関する件(その2)
- 2005年度会計監査報告

第1号議案、第2号議案の内容について前委員長より説明があった。  
続けて会計監査委員(小濱先生)より監査報告があった。

### 質疑

工学部支部：事務局の事務再編について執行部がどのように認識しているのか？また、今後の事務再編について情報があれば教えてほしい。

前書記長：学務課を学務チームにするなど名称変更程度のものにとどまったのではないかと考えている。今後の再編については承知していない

工学部支部：これまでの改革で本部に人が集中し、学部が手薄になった。そのため、昨年度の事務再編は本部内の調整で終わり、学部事務の問題には根本的な手が打たれなかった。非常勤職員の雇用3年期限について従来「原則」ということだったのに団体交渉で「原則」ということばがなくなっている。執行部の認識をききたい。

静岡大学教職員組合  
静岡：  
〒422-8529  
静岡市駿河区大谷 836

TEL/FAX:  
054(236)0173(直)  
054(237)1111(代)  
2790(内線)

E-mail  
[suu@jade.dti.ne.jp](mailto:suu@jade.dti.ne.jp)

浜松：  
〒432-8561  
浜松市城北三丁目 5-1

TEL/FAX:  
053(475)9035(直)  
3910(内線)

E-mail  
[suu-seibu@vcs.wbs.ne.jp](mailto:suu-seibu@vcs.wbs.ne.jp)

目次：

定期大会報告	1～4
組合からのお知らせ	4

前書記長：確かに最近は「原則」という文言がなくなっている。この点については組合として追求していかねばならない。事務再編についても、根本的な問題についてはなんら解決されておらず、この点についても組合として注目していきたい

人文学部支部：時間外労働について実態を調査すべきではないか？組合員の拡大について、新入会員について図書カードを送るなどの工夫があっても良いのでは？

前書記長：マンパワーの問題等もあり、調査できなかった。今後努力していきたい。組合員の拡大については既に参加している組合員との公平性の問題もあり具体的な手を打てなかった。今後検討の余地がある。

工学部支部：過半数代表をしているが、時間外労働について協定外の労働をさせたにもかかわらず事後的に過半数代表への連絡があった。協定の変更が事務長に伝わっていないといったこともあった。工学部では教務担当の大幅な移動があった。このような無理な配置転換が行われた理由を知りたい。

前書記長：協定外の労働とは？

工学部支部：45時間を越えての労働を行ってしまい、過半数代表への事後承諾という形になった。

1号議案、2号議案ともに全員賛成(35名)で採択された。

第3号議案 2006年度活動方針(案)とその承認に関する件

第4号議案 組合費徴収細則改正案とその承認に関する件

第5号議案 2006年度会計予算(案)

第6号議案 人事委員の承認に関する件

第7号議案 専従書記局員就業規則改正案とその承認に関する件

第3～7号議案について2006年度書記長より説明があった。

内容は、第1回学長交渉の内容、特に大学側の回答に関する説明、とそれに対する組合の対応について。第3号議案および第4～7号議案についての説明。

質疑

情報学部支部：3号議案(5)2)の地域調整手当について、西部地区の問題としてではなく全体の問題として取り扱うべきである。

書記長：地域手当だけでなくその他の問題も含めて西部の問題というように認識している。

情報学部支部：7号議案の日付は？

書記長：本日付でお願いします。

工学部支部：事務再編について、学生数の比率では東部と西部で変わらないのに、事務職員の配置は東部75%、西部25%となっており、これでは学生サービスとしていかがなものか？公平な学生サービスを行うためにも適正な配置を行うことを組合からも提案してほしい。また、格差是正について、年限を切るなど明確な目標を定めて組合として追求して欲しい。また、財務について、資料公開を要求するとともに、組合としても専門チームを作って分析し、提案していくといったことも必要ではないか。加えて、組合員の拡大により努力すべきでは？事務職員が組合に入らない理由を調査すべきでは？事務職

員が組合を敵視するような状況が生じないように注意が必要では...事務職員の移動が現状では3年だが、これでは短すぎるのではないか。もっと腰を落ち着けて働けるように組合からも提案して言ってほしい。

書記長：事務職員の配置は特定部署間の移動の形ではなく、必要な部署への増員を要求したい。より具体的な財務状況資料を大学側に要求したい。また、全大教でも組合員減少が続いており危機的な状況である。静大でも過半数組合を目指すことが重要で、新しく大学に来た方へ加入の働きかけを積極的にしていきたい。3年での移動についてだが、従来正規職員が移動していく中で非常勤職員が支えてきた。しかし、非常勤職員も3年の期限雇用という状況が起こっており移動については今後検討していかなければならない。

工学部支部：工学部での助手の雇用・処遇について。物質工学科では助手は研究室を与えられていない。教授の部屋に間借りしている。直接の上司に当たる教授がいなくなると学科の事務室に机を移されるなどして研究の続行が不可能になる。他大学に出て行くように言われたりもする。

書記長：そのような実態については是非組合に情報を寄せてほしい。

工学部支部：団体交渉の前に拡大代表委員会の開催を。今回の団体交渉で、インセンティブについての局長の回答で、前回の回答を覆すような回答が起こるのは組合側の質問とそれに対する回答という形でつめていないためである。そのためには事前の事務折衝を行っていくべき。また、組合ニュースにも組合側の質問をきちんと載せるべきである。

書記長：今後改善していきたい。

工学部支部：交渉前に事務折衝（懇談会）のようなものを設定できるのか？

工学部支部：個別の問題（昇格、人事等）については組合と当局で協議する場を設定していくことを当局に提案していくべきでは？たとえば、昇格基準の設定について今後決めていくことになると思うが、人事委員会を協議の場にするなど具体的な協議の場を設けることを検討してほしい。

工学部支部：局長の発言で6級への昇進はどこの大学でもやっていないという発言があったが確認してほしい。

浜松で事務再編を行おうとしたが浜松地区の学部長が反対したためにできなかったとの発言が学長からあったが、そのために今回のような事務再編になったということなのかを確認していく必要がある。

執行委員：組合は事務系職員の定員の再配分については議論をすべきではない。そうではなく事務系職員全体の増員を目指す中で、西部の実態を強調すべきである。また、組合は組合員のために活動をすべきである。

工学部支部：教職員の負担、学生サービスの点から考えると東部と西部の事務職員配置の問題については組合からも提案していくべきだ。単に昇格などだけでなく、大学を浴していくという観点からは未加入者も含めて働きかけていくべきだ。

書記長：データに基づいて執行部で検討していきたい。

前書記長：事務折衝については可能だろう。常々意思表示をして、協議の場を設け資料を出させていくことが重要だ。

工学部支部：退職金の取り崩しの問題について。きちんと処理すべきだ。

前書記長：2年間かけて元の状態に戻す予定である。

書記長：この件について補足を追加する。

情報学部支部：情報では実質5名が2名になり、パートで補填している。浜松にもっと人を配置してほしい。

静岡大学教職員組合公式HPも  
ご覧ください。(随時更新中)

<http://www.jade.dti.ne.jp/~suu/>

働きやすい職場を  
実現したいと思いませんか？

組合員のための組合

あなたも組合に加入しましょう！

ともに、静岡大学を明るく、  
働きやすい職場に  
していきましょう！

ポスターとパンフレットがあります。  
必要な方は書記局までお申し出下さい。

新しく着任された方に、  
加入のよびかけをお願いします。



【書記局閉局のお知らせ】

下記のとおり静岡・浜松書記局を  
閉局します。

静岡：8/10 浜松出張のため  
8/14・15  
9/1 教職員共済研修のため  
9/4～8

浜松：8/14～22

これ以外で突発的な閉局がある  
かもしれません。ご迷惑をおかけ  
しますが、よろしく願いいたします。

議案採択

3号議案 保留1名、35名賛成。

4号議案 全員賛成 (36人)。

5号議案 (但し書きをつける修正の後) 全員賛成 (36人)。

6号議案 全員賛成 (36人)。

7号議案 (本日付の日付を入れて) 全員賛成 (36人)。

6時16分 議長解任。定期大会閉会



★全大教全国教職員研究集会のお知らせ★

今年の全国教研は9月22日～24日、会場は一橋大学です。

テーマ：「法人化3年目を迎えて—大学・高等教育の現状と課題」

日程は1日目が記念講演など、2日目の午後までが分科会A、その後から3日目の午前中が分科会Bです。

分科会A：A1 大学教育問題 A2 法人制度化における労働関係  
A3 大学における研究と財政問題  
A4 教育研究組織のあり方

分科会B：B1 過半数を目指す組織作りと組合のあり方

B2 大学と地域社会

B3 法人制度化における大学自治・自立的機能のあり方

B4 「男女共同参画社会の実現」 B5 図書館職員

B6 事務職員 B7 技術職員分科会

B8 公立大学分科会 B9 大学共同利用研究機構

B10 附属学校 B11 非常勤職員

※各分科会の詳細につきましては、組合のホームページに載せます  
ので、ぜひそちらで確認してください。

※参加希望の方は、各書記局までお知らせください。

★中部ブロック技術職員交流会が行われます★

日時：8月26日(土) 13:30

～27日(日) 11:30

場所：岐阜県高山市塩沢温泉 七峰館

議題：法人化後の組織・改組(予算)、職名処遇等、昇格・昇格  
状況、管理評価(個人評価)、時間外労働、再雇用、就業  
規則等、労安法(衛生管理・作業環境測定等)、その他

※参加希望者は、各書記局までお知らせください。

